



サステイナブルな地域社会のために、

**自然と人の温もり感じ
里山で働く喜びを提供する
新たな福祉サービス**



SATOYAMA
FARM
DEN+

就労継続支援B型事業所
「 SATOYAMA FARM DEN+ 」

1



雇ホールディングス株式会社（長野県松本市深志1-2-18 代表取締役社長:齊藤忠政）は、当社で運営する宿泊施設「Satoyama villa DEN」（松本市中山5471）に隣接する農園において、障害者の方へ軽作業や就労訓練の機会を提供するなどの就労系障害福祉サービスをおこなう就労継続支援B型事業所「SATOYAMAFARM DEN+」を開設した。

当事業所は、築およそ200年の母屋を中心に江戸時代から残る長屋門や蔵、蚕小屋から構成されており、宿泊施設をはじめとする家屋内はモダンにリノベーションしております。また北アルプスを一望する近隣の田畑も施設の一部としてお米や野菜作りに活用しており、今回新たに「イチゴ栽培」と「ハーブ栽培」を開始いたします。

今後も、こうした里山の自然、文化、建造物、食を生かしながら、当事業所を利用するさまざまな立場の皆さまに、自然を肌で感じながら、心温かく健やかに過ごせる環境を提供し、いきいきと明るく暮らしていける持続可能な地域社会の発展につなげていきます。

2022・11・28 プレスリリース記事より



2



就労継続支援B型事業（非雇用型）について

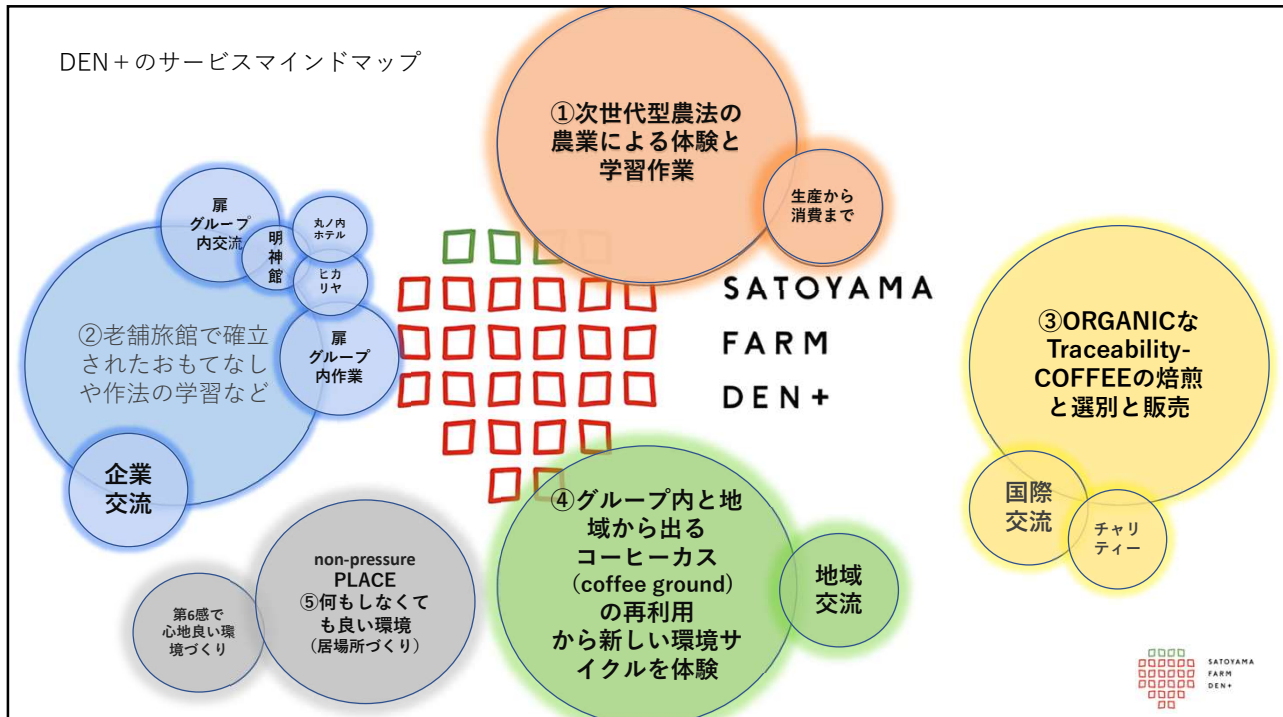
通常の事業所に雇用されることが困難であり、雇用契約に基づく就労が困難である者に対して、就労の機会の提供及び生産活動の機会の提供その他の就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の必要な支援を行う。
(利用期間:制限なし)

【対象者】

就労移行支援事業等を利用したが一般企業等の雇用に結びつかない者や、一定年齢に達している者などであって、就労の機会等を通じ、生産活動にかかる知識及び能力の向上や維持が期待される障害者

- ① 企業等や就労継続支援事業(A型)での就労経験がある者であって、年齢や体力の面で雇用されることが困難となった者
- ② 50歳に達している者または障害基礎年金1級受給者
- ③ ①及び②に該当しない者であって、就労移行支援事業者によるアセスメントにより、就労面に係る課題等の把握が行われている者

3



4

特徴① 次世代型農業



■次世代農業ビジネスモデル「Monopot」について

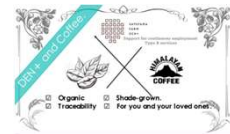
SATOYAMA FARM DEN+のイチゴ農園（農業ハウス）では、株式会社AI・DEAが独自に開発した、農業の効率と応用性を最大限の発揮することを可能にする次世代農業システム「Monopot」を採用しました。

プランターを垂直に配置することで省スペース化を実現し、収穫量を倍増に加え、環境管理や品質管理の効率化をもたらします。また回転稼働型の専用ハンキングシステム「ai.shell」は、スペースの活用効率を向上させるほか、車いすなどを利用する障害者の方にとっても農作業がしやすい環境を実現します。



5

特徴③ コーヒー



ヒマラヤンズの活動により現地ネパールの耕作パートナー「グリーンランド・オーガニック・ファーム」のコーヒー取扱いしております。「農家支援プログラム・FSP・」を実施。

- ①トレーサビリティー Traceability： 生産地・生産者・農家への報酬は公開されております。
- ②高地育成 Highland farm 4000ft（標高1,200M）※蔘科高原くらい
- ③オーガニック Organic 農薬化学肥料未使用
- ④シェード栽培 Shade grown
木々の陰で栽培しているため、熟成期間が長くとれます。シェードを維持することで渡り鳥などの保全や住処維持にもなっています。
- ⑤手摘み hand picked ジェンダー隔たりなく活躍して頂いている農場です。※男性中心な農場が多いなか



6

特徴③ コーヒー



◇インクルーシブコーヒー活動への参加

プロジェクトはテスト段階ではありますが、将来的にDEN+にて、
コーヒーでつながる他海外施設との交流も予定しております。そのための英語のカリキュラムも準備。

2017年から2019年の間に、欧州連合が資金提供したHamro Coffee Projectが、ネパールの6つの主要なコーヒー産地で実施されました。このプロジェクトは主に、生産されるコーヒーチェリーの品質と量の向上、一次加工施設の改善、ネパールコーヒーの国内外の取引業者の強化と市場連携、およびコーヒーセクターにおける若者の雇用可能性の向上に重点を置いていました。

Hamro Coffeeプロジェクトの教訓に基づいて、FCDOの障害者インクルーシブ開発 (DiD) イニシアチブに基づくパイロットプロジェクトが、ネパールの2つの地区で実施されています。インクルーシブHamro Coffeeプロジェクトの主な目的は、ネパールにおける障害者インクルーシブコーヒーのバリューチェーンを促進することです。障害を持つ人々の組織 (OPD) とコーヒーのバリューチェーン関係者の積極的な関与とともに、革新的なアイデアが共同で作成され、ネパールのコーヒーのより包括的な未来を開発するためにテストされています。



7

特徴④ コーヒーカス (COFFEE Ground) リサイクル
コーヒーかすプロジェクト



①肥料利用還元図

Fertilizer utilization reduction diagram

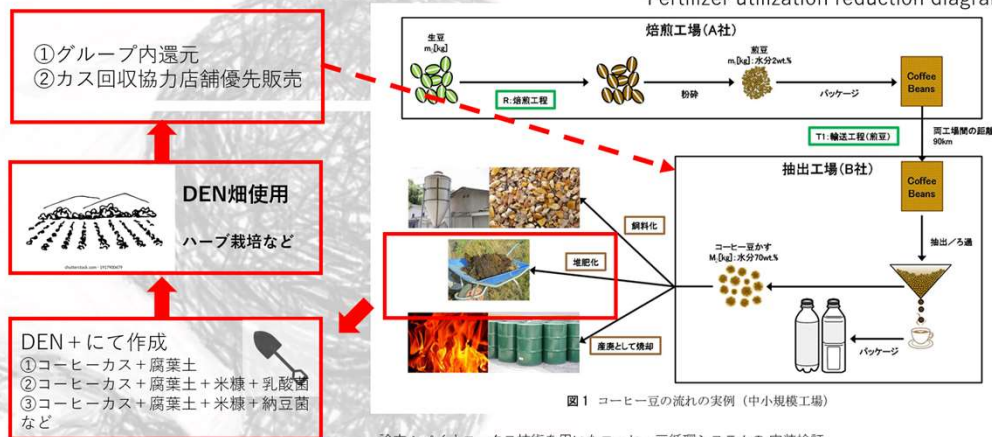


図1 コーヒー豆の流れの実例 (中小規模工場)

論文：バイオコークス技術を用いたコーヒー豆循環システムの 実装検証
Implementation Verification of Coffee Bean Circulation System Using Bio-coke Technology
矢嶋 尊*、松本 恭一**、森木 公朗***、井田 民男* (2019年6月25日) より



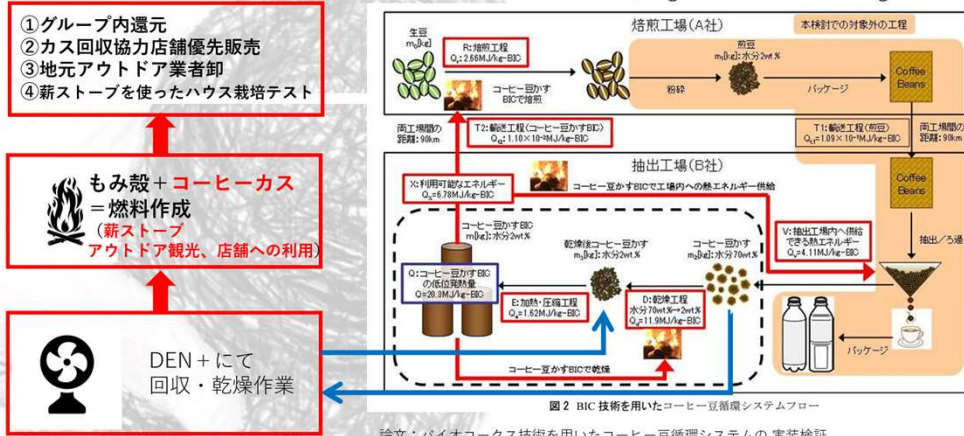
8

特徴④ コーヒーカス (COFFEE Ground) リサイクル
 コーヒーかすプロジェクト



②燃料利用還元図

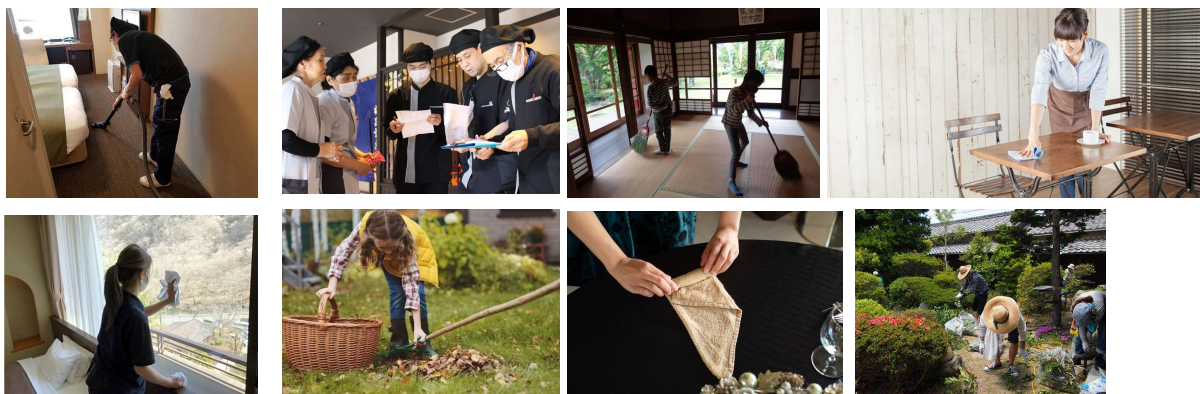
Figure of reduction using solid fuel



論文：バイオコークス技術を用いたコーヒー豆循環システムの 実装検証
 Implementation Verification of Coffee Bean Circulation System Using Bio-coke Technology
 矢嶋 篤*、松本恭一**、森本公朗***、井田民男* (2019年6月25日) より



特徴⑤ グループ内作業 ※写真はイメージ





就労継続支援Bは、
通常の事業所に雇用されることが困難であり、雇用契約に基づく就労が困難である方に対して、就労の機会や生産活動等の機会の提供、また、その他の就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練・支援を行う事業所及びサービスのこと。

扉グループ SATOYAMA FARM DEN+として、
ミッションでもある「感動体験の創出と未来への希望」を掲げ、継続的な社会発展に寄与する活動を発展的に行って参ります。

本来であれば、利用者様の利用判定では本人の能力（作業遂行性）や社会性（他利用者様との属性）で結局、選択されてしまう状況がありますが、
その方の“心地よいと感じられる居場所”であれば積極的にご利用いただける場所です。
それは、人と人、人と場所、人と社会または自然の相互満足（ホスピタリティー）を大切にします。

自身の存在意義を感じてもらい、“居る場所がある”安心感。
利用者様＝お客様ではなく共に活動する仲間として。または、相談を受ける側として。
それが、我々の考える“福祉”となります。

管理者



11



12